

MOBILE SUIT XXXG-01W WING GUNDAM "Ver.Ka"

SPECIFICATION / MODEL NUMBER:XXXG-01W HEIGHT:16.3m WEIGHT:7.1t MATERIAL:GUNDANIUM ALLOY
ARMAMENTS / MACHINECANNON X 2 BUSTER RIFLE X 1 BEAM SABER X 1 SHIELD X 1
Assignment:COLONIES LIBERATION ORGANIZATION



MOBILE SUIT XXXG-01W WING GUNDAM "Ver.Ka"

XXXG-01W WING GUNDAM
"Ver.Ka"

Instruction making staff

Produce/direction : KATOKI HAJIME
Edition : TAKAGI SUNAO(KADOKAWA SHOTEN)
Design : SAITO DAISUKE(DESIGNMAN)
Writing : YAZAWA KOICHI(BEAN KIDS)
Photo : ENTANIYA
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI
Marking : KONNO YUJI(JAM)



Ver.Ka

HIGH SPEC TRANSFORMABLE MOBILE SUIT
A.C.195 OPERATION METEOR

BANDAI 2004 MADE IN JAPAN

写真の完成品は塗装してあります。

0123714



もうひとつのウイングガンダム

Interview to Katoki Hajime

この機体は、OVA『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』における『MSV』(モビルスーツバリエーション)的なポジションとしてデザインされたものだが、今回デザイナーズMG『Ver.Ka(カトキハジメバージョン)』第2弾として模型化されるにあたり、その産みの親であるカトキハジメ氏にデザインコンセプト等について聞いた。

テレビシリーズ『新機動戦記ガンダムW』で敵組織“OZ”のモビルスーツデザインを手掛けたカトキ氏は、その続編にあたるOVA『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』で全モビルスーツのデザインを担当。そのデザインワークの中で、カトキ氏はテレビシリーズ後半で主人公たちが搭乗した改良型ガンダム5機(ウイングガンダムゼロ、アルトロンガンダム(ナタク)、ガンダムデスサイズヘル、ガンダムヘビーアームズ改、ガンダムサンドロック改)をOVAに登場させるに当たり、新たにデザインを起こすことになった。

ウイングガンダム(Ver.Ka)を生み出す礎となったOVA『Endless Waltz』(以下EW)版ガンダムは、どのようなコンセプトを持ってデザインされたのか、カトキ氏に聞いてみた。「村瀬修功さんがデザインしたスタイリッシュな美形キャラのイメージに合った、スマートなガンダムにしたかったです。テレビシリーズの戦闘シーンでは各々の機体の個性を生かしたケレン味溢れる演出がされていて、それが強いキャラクター性を発揮していたので、ガンダムが装備する武器をもっとダイナミックな感じにしようと提案しました」

実際、ナタクならドラゴンハンク、サンドロック改ならヒートショーテルという具合に個々のガンダムを象徴する武器や意匠が強調されていることがデザインから見て取れる。そしてウイングガンダムゼロ(プラモデルでは“ウイングガンダムゼロカスタム”と呼称)では天使のように幾重もの羽根で構成されたイメージの翼を与えることとなり、多くのガンダムファンを驚かせた。「ウイングゼロがあのようなデザインになったのは、1年間テレビシリーズを通して“あの世界”を見てきた私にとっては自然な流れでした。画面ではすでに

独特の様式美ができあがっており、あとはもう羽根が舞うのを待つばかりといった感じでしたから」このOVAシリーズ(全3巻)もテレビシリーズと同様に好評を博し、翌年にはこれを再編集した劇場版『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz-特別編-』が公開されるまでに至った。「平成当初に始まったガンダムシリーズの中では『ガンダムW』は非常に好評だったと思います。テレビ・OVA・劇場となつたのは、『ガンダムW』が唯一ですから。この人気は映像のみではなく、プラモデルにも大きく影響を与えました。『EW』版のプラモデルは最初1/100スケールのゼロカスタムとナタク、それとトルギスⅢのみ発売でその先は未定だったが、いつの間にか1/144と1/100の両方のスケールでガンダム5体が揃っていました。いわゆる『平成ガンダム』のなかで、5大ガンダムを両スケールでコンプリートしたのは『EW』が初めてです。その後、敵モビルスーツであるサーベントやメックバージョンまで発売されたのですから、余程好評だったでしょう。それでかつての『MSV』のようにプラモデルの開発を前提として、このシリーズの中でもっとバリエーションを広げていこうという話を持ち上がってきたのです」(P.11へ)

XXXG-00W0 ウイングガンダムゼロ (エンドレスワルツ版)

OVAでヒロが搭乗した機体。羽根状のパーツで構成された翼を羽ばたかせて飛行する。劇中では、翼を広げた際に羽根が一面に舞うといったファンタジックな演出も見られた

XXXG-01W ウイングガンダム (エンドレスワルツ版)

OVAでヒロ・ユイが搭乗したウイングガンダムゼロをベースに、初期型のウイングガンダムをデザインした機体。複雑な立体構成による翼と鮮やかなカラーリングが特徴的。強力な破壊力を持つバスターライフルを装備

→ウイングガンダムはテレビ版と同様にモビルスーツ形態から高速飛行形態“バードモード”(右図)に変型可能。前後に長いプロポーションが特徴的だ



←カトキ氏が劇場版『Endless Waltz』のパンフレット掲載用に5機を描き下ろしたカラーイラスト

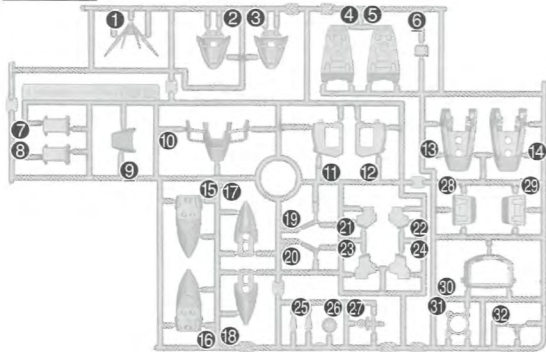
「エンドレスワルツ」版のガンダム

OVAに登場したガンダムと、OVA世界における初期型というポジションでデザインされ、かつて“アーリータイプ”と呼称されたガンダムを、「エンドレスワルツ版」として、あわせてここに紹介する

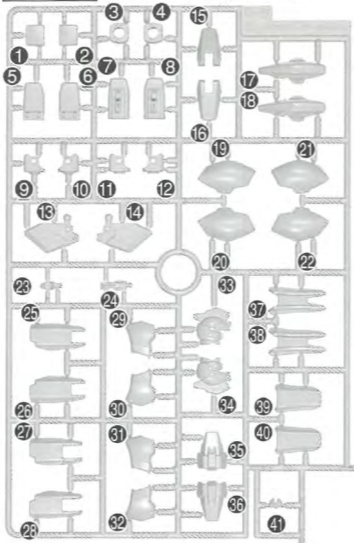
 <p>XXXG-01D ガンダムデスサイズ</p> <p>デスサイズヘル以前のデュオの乗機。爪が強調され、スマートな形状となった左腕/バスターシールドが特徴</p>	 <p>XXXG-01S シェンロンガンダム</p> <p>アルトロン以前の五飛の乗機。右腕に装着されたドラゴンハンクはテレビ版と比較して大型化されている</p>	
 <p>XXXG-01S2 アルトロンガンダム</p> <p>OVAでの五飛の乗機。シェンロン同様、“ナタク”という愛称で呼ばれる。両腕のドラゴンハンクが主武装</p>	 <p>XXXG-01H ガンダムヘビーアームズ</p> <p>ヘビーアームズ改以前のトロワの乗機。鮮やかなオレンジのカラーリングはテレビ版に準拠している</p>	
 <p>XXXG-01D2 ガンダムデスサイズヘル</p>	 <p>XXXG-01SR ガンダムサンドロック</p> <p>サンドロック改以前のカトルの乗機。改とはフォルム上の違いは無く、カラーリングのみ異なる</p>	
	 <p>XXXG-01H2 ガンダムヘビーアームズ改</p> <p>OVAでのトロワの乗機。ビーム・ガトリックはテレビ版同様アーリータイプの1門から2門になった</p>	 <p>XXXG-01SR2 ガンダムサンドロック改</p> <p>OVAでのカトルの乗機。宇宙戦用に改修された機体という設定。大型のヒートショーテルが特徴</p>

パーツリスト

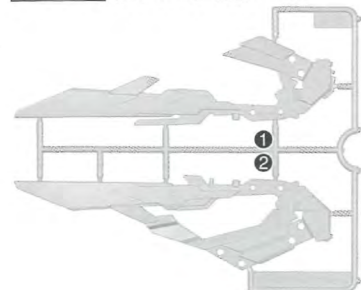
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



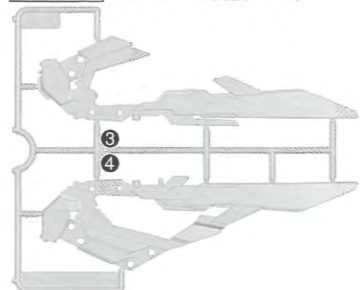
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



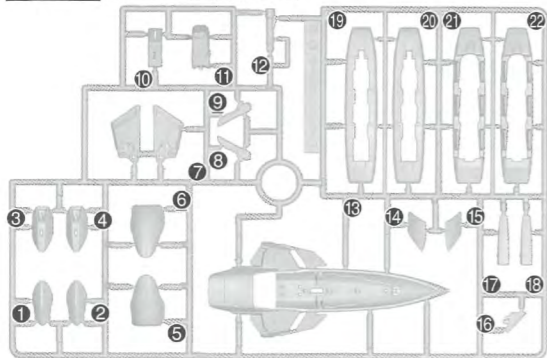
C1パーツ (スチロール樹脂: PS)



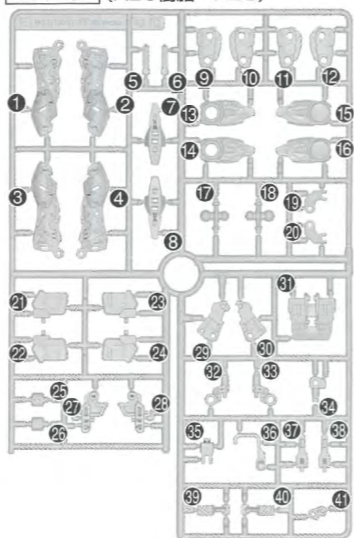
C2パーツ (スチロール樹脂: PS)



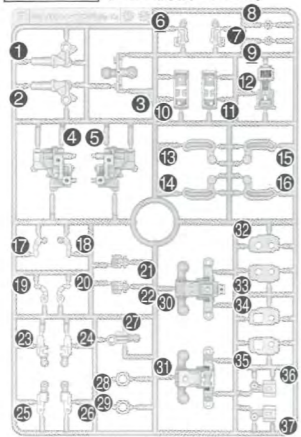
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



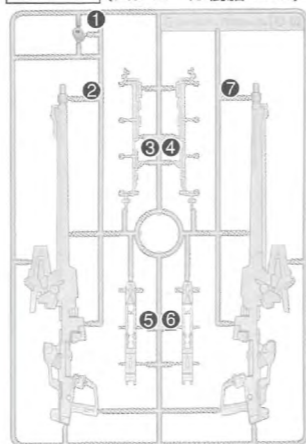
Eパーツ (ABS樹脂: ABS)



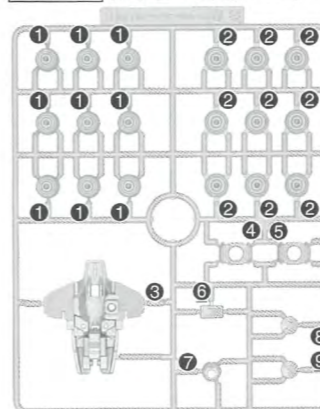
Fパーツ (ABS樹脂: ABS)



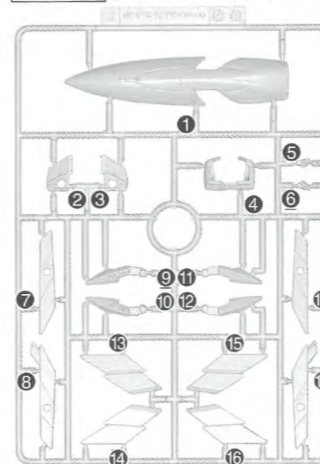
Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



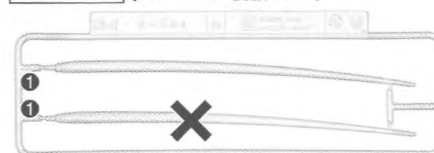
Hパーツ (スチロール樹脂: PS)



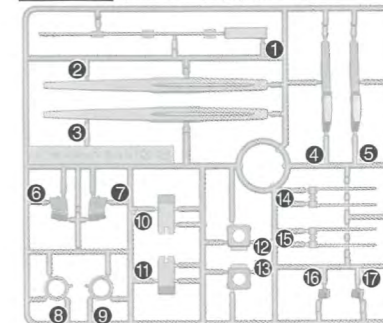
Jパーツ (スチロール樹脂: PS)



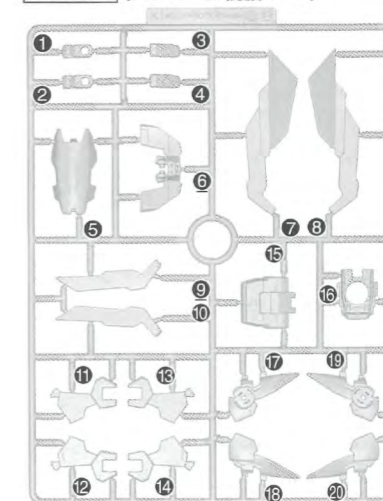
SB4パーツ (スチロール樹脂: PS)



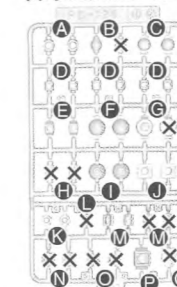
Iパーツ (スチロール樹脂: PS)



Kパーツ (スチロール樹脂: PS)



PC-126プラス
(ポリエチレン: PE)



カラーシール……………1枚
マーキングシール……………1枚
ガンダムデカール……………1枚

注意

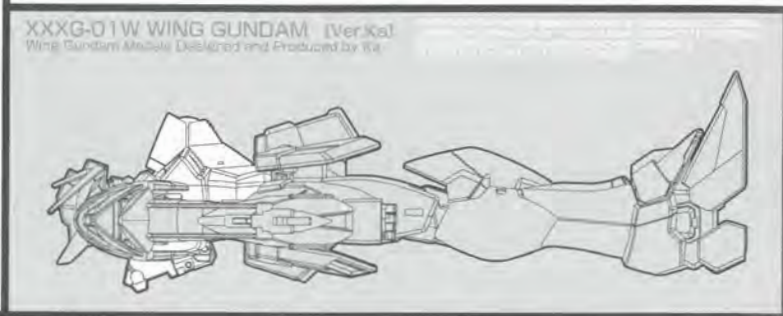
ご購入のお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

- 《組み立てる時の注意》
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 - 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。
 - ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・接合をするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取るころ	・部品を数個の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

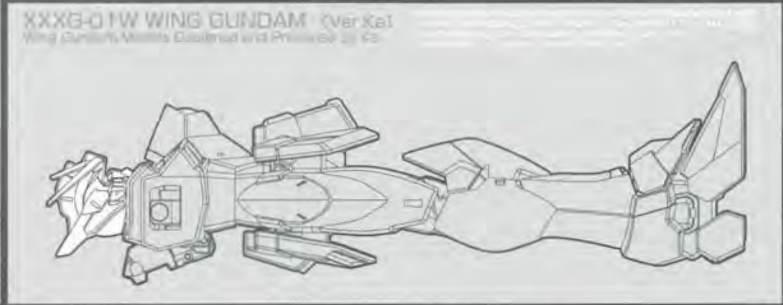
1 BODY



1-1 BODY (ボディの組立)

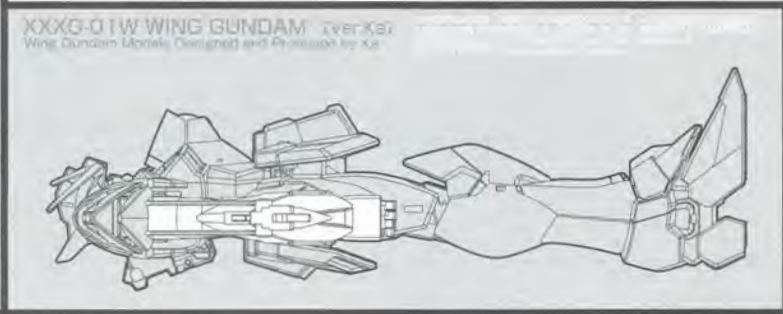
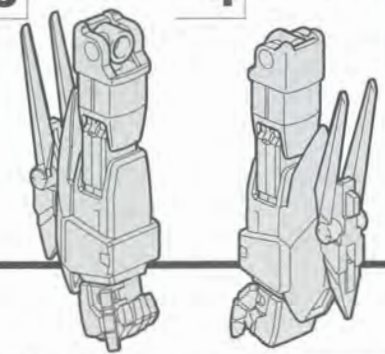
1-2 COMPLETION (ボディの完成)

2 HEAD



2-1 HEAD (頭の組立)

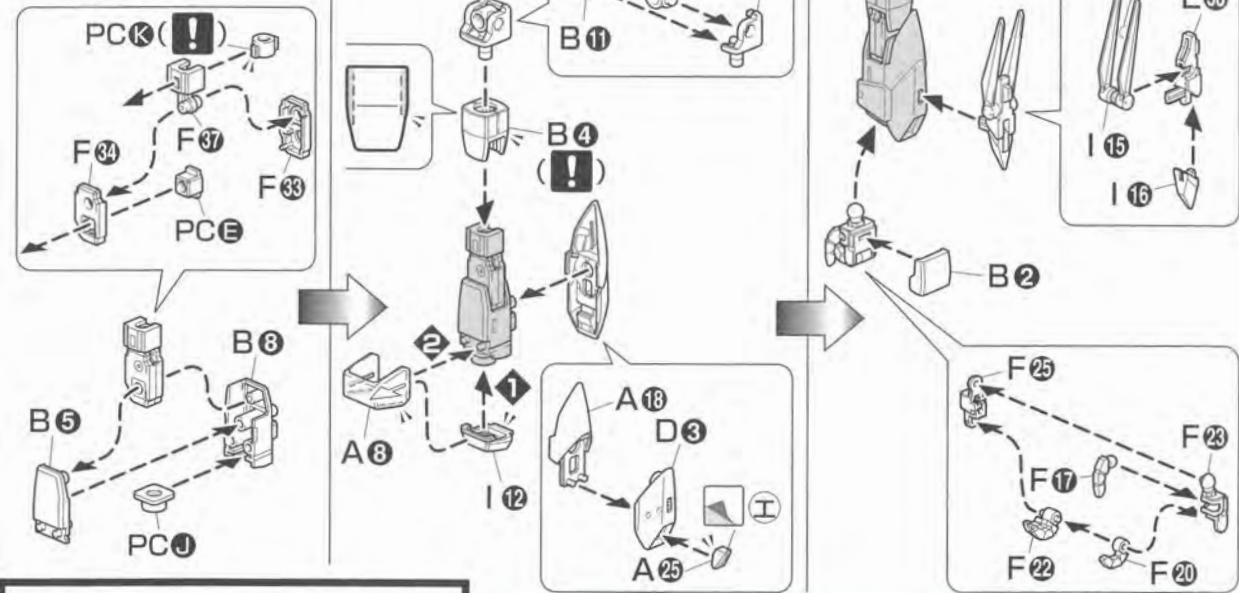
3 RIGHT ARM 4 LEFT ARM



3-1 RIGHT ARM (右腕の組立)

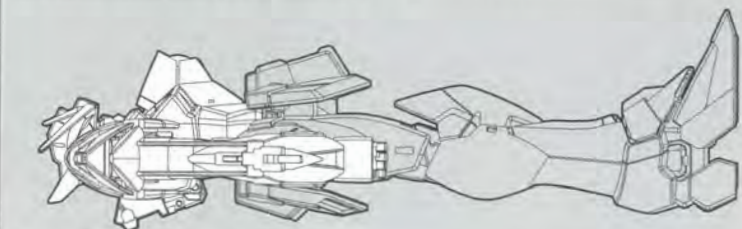
4-1 LEFT ARM

(左腕の組立)



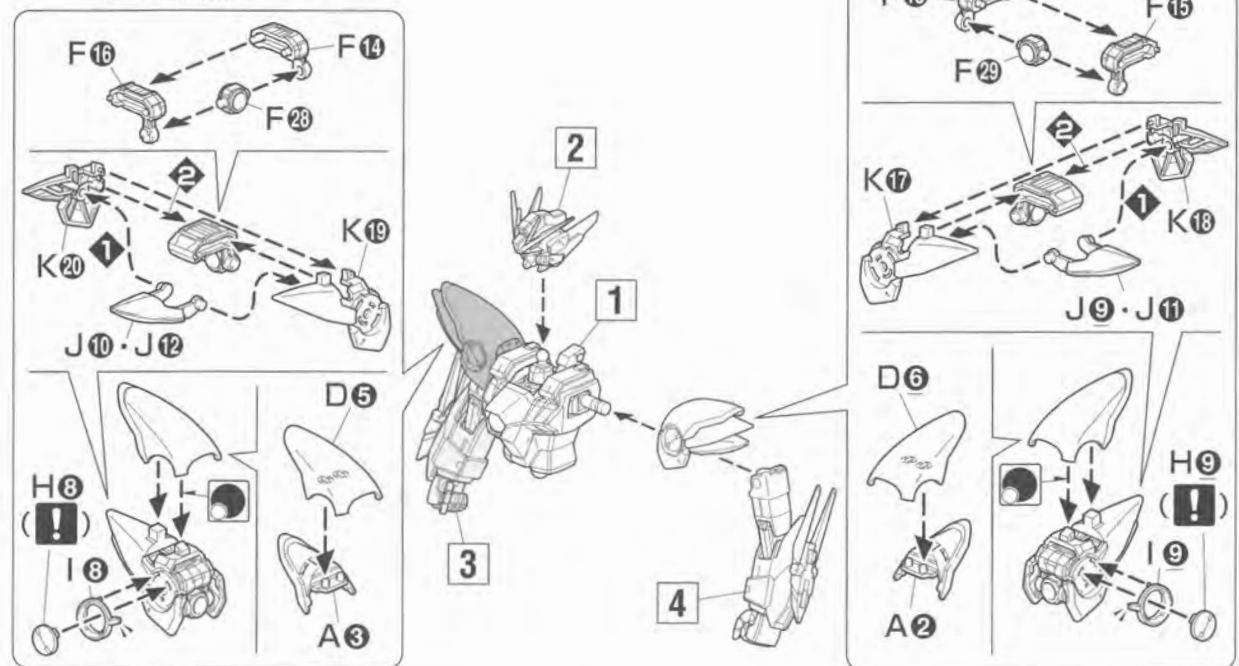
5 UPPER BODY

XXXG-01W WING GUNDAM (Ver. Ka)
Wing Gundam Models Designed and Produced by Ka



5-1 UPPER BODY

(上半身の完成)



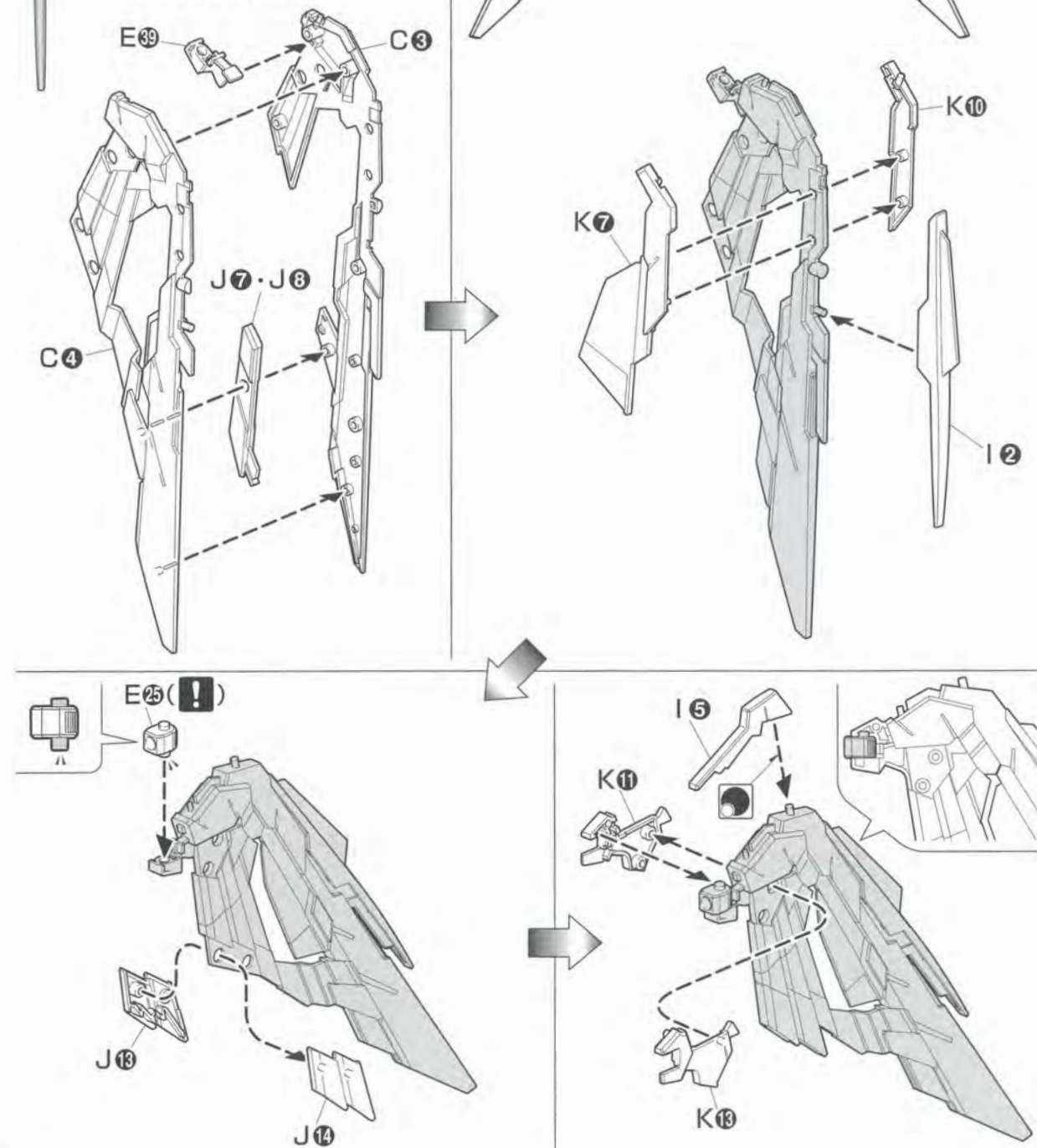
6 WING UNIT

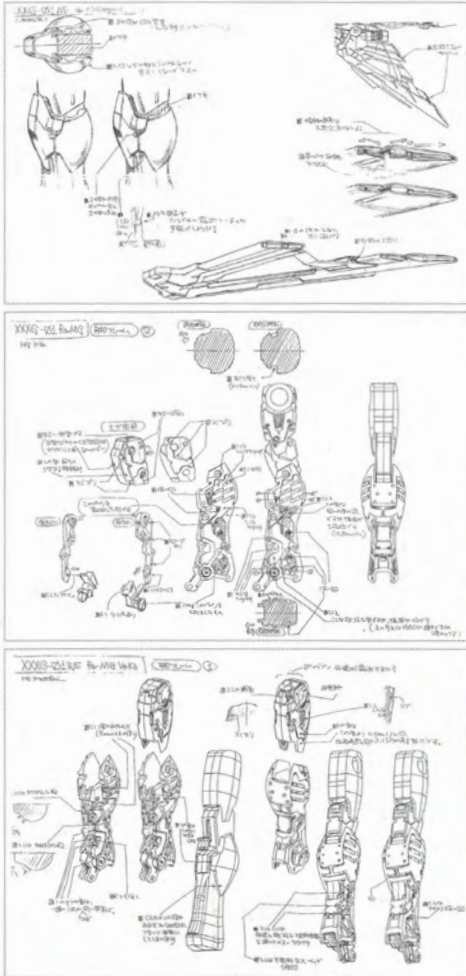
XXXG-01W WING GUNDAM (Ver. Ka)
Wing Gundam Models Designed and Produced by Ka



6-1 RIGHT WING

(右ウイングの組立)





XXXG-01W WING GUNDAM

Gundam Models
Designed and Produced by Ka "Ver.Ka"

A: 翼・ふくらはぎの詳細な描き。翼のエンド部は今回新たに描かれたもの。/**B~C:** 脚部フレームの詳細な描き。外装パーツが装着されるフレームの性格上、表面に突起のようなディテールを設けないなど、その機能を阻害しないように最大限の注意が払われている。/**D:** 胸部コックピットハッチは開閉可能。中にはパイロットのヒイロ・ユイが見える。/**E:** ヒイロ・ユイのフィギュアが付属。/**F:** 翼のエンドアップ。Aの描きの指定が反映されている。/**G:** 付属するオプション装備。上からバスターライフル、エネルギー・カートリッジ・ポッド(2セット)、ビームサーベル、シールド。/**H:** エネルギー・カートリッジ・ポッドはモビルスーツ形態の両腕に装着可能。/**I:** 両肩のマシンキャノンも開閉可能。/**J:** 翼部の背面接合部は変形時に可動。/**K:** バードモード時の肩部。/**L:** 脚部フレーム。B~Cの詳細な描きが反映されている。/**M:** 今回のキット化において考案されたバードモード時のヒザ変形ギミック。/**N~O:** 全身写真。スタイリッシュなフォルムが美しい。



こうしてカトキ氏はバンダイホビー事業部からの提案により、テレビシリーズに登場した初期型ガンダム5体をOVAの世界に合わせる形で新規にデザインを行うことに。この時デザインされたガンダムはテレビ版との区別のため、便宜上“アーリータイプ”と呼称されることになった。「OVAに登場するゼロカスタムは、テレビ版のウイング・ゼロを改造したり新規に開発したということではありません。フィルム上で特に説明はありませんが、テレビ版とはデザイン上パラレルな扱いというだけで全く同じ機体なのです。それならOVAの世界でもヒイロはウイングガンダムゼロに乗る前はウイングガンダムに乗っていたのだから、もちろん他の4人も……と考えを広げたのが、今回のウイングガンダム[Ver.Ka]の始まりな訳です。[EW]版の後期型ガンダムと比較すると一目瞭然ですが、基本的に本体のデザインはほぼ同じにしています。これは模型開発への配慮から、従来のキットからランナー1枚差し替えるだけで実現可能にしようとしたからです。これが最初に発表となったのは、劇場版のパンフレット用に描き下ろした版権イラストで、同じものが「ニュータイプ」(角川書店刊)にも掲載されました。その後、「ホビージャパン」(ホビージャパン刊)誌上で立体作例記事が展開されますが、両者とも既に完成していた模型企画用のデザイン画が元になっています」

元々模型用企画だった“アーリータイプ”が、Ver.Kaシリーズとしてキット化されたのは、半ば必然の出来事だったのかもしれない。最後にカトキ氏からこのキットのポイントについて語ってもらった。**[MGウイングガンダム[Ver.Ka]では、従来のMG**

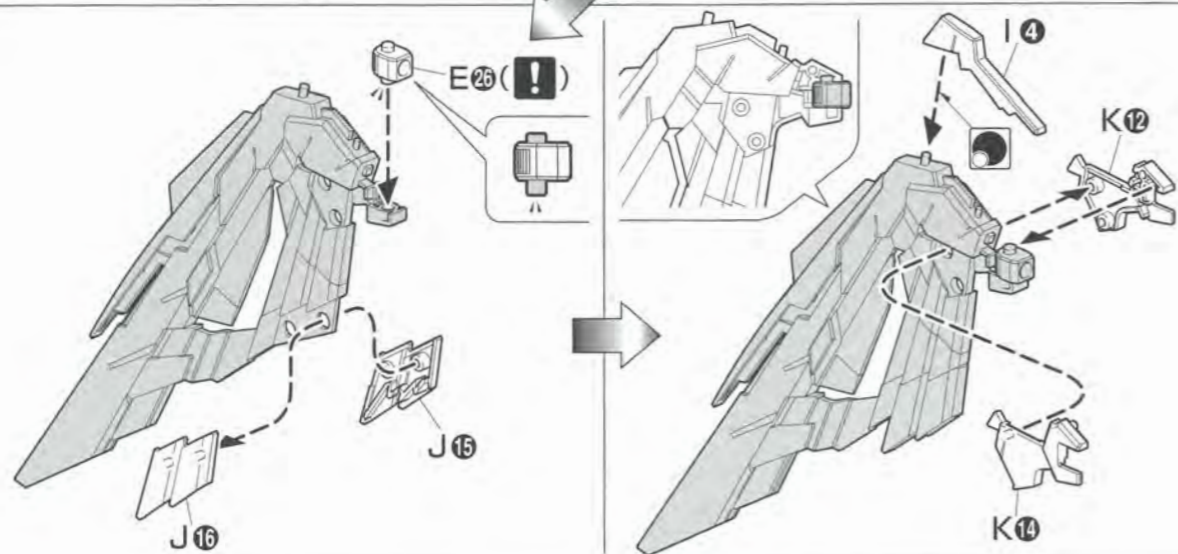
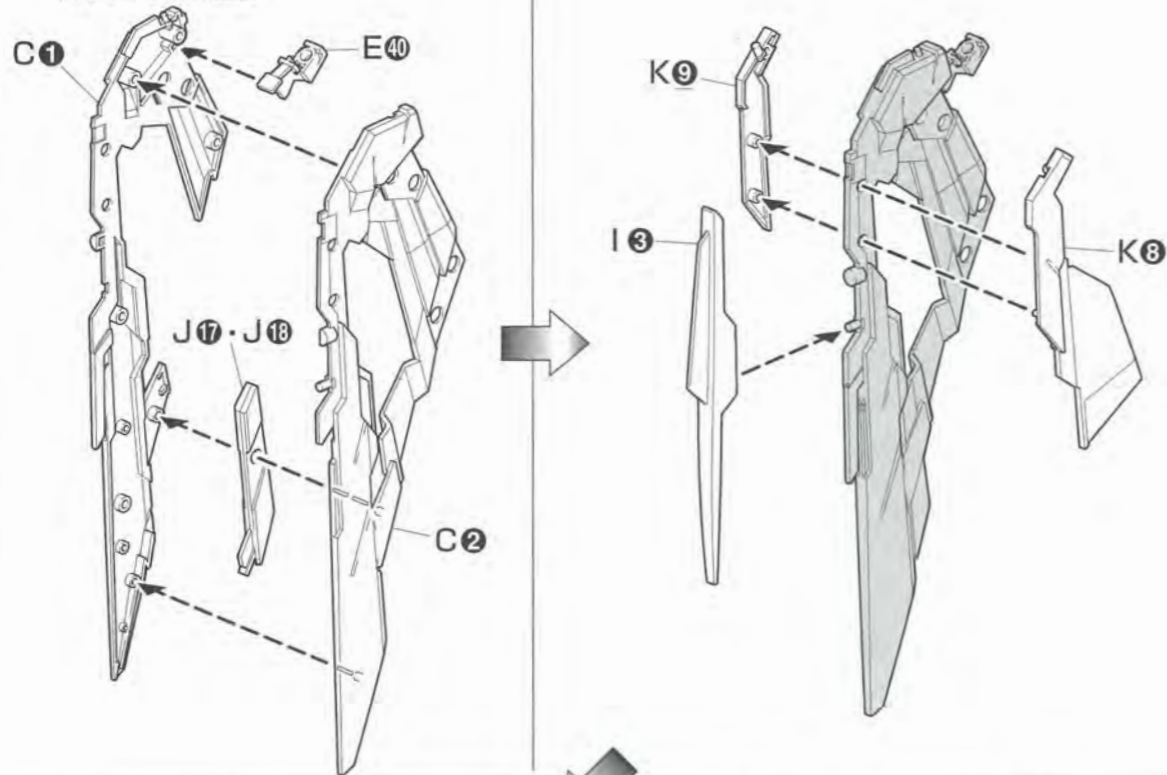
シリーズに無いラインとプロポーションに挑戦しています。このウイングガンダム[Ver.Ka]ほど全体をラウンドシェイプで構成したガンダムというのは、今までにMG化された例が無かったのでほぼゼロからの挑戦でしたが、良い感じに仕上げた。ふくらはぎや肩の膨らみなど、尖っているけど角が立っていないというプラモデルでは表現が難しいデリケートなラインによりやく分け入ることができたと思っています。本キットでは、将来「F91」や「Vガンダム」といった曲線主体のガンダムを模型化する際にも応用が効くノウハウが得られたと言えるでしょう。

第2のポイントとしてはプロポーションにおいてスマートで8頭身、思い切って、かつてないほど頭部を小さくして脚をスラッと長くさせた“スーパーモデル体型”を目指し、それでキチンとバランスをまとめることができたということが挙げられます。従来のガンダムのプロポーションはRX-78を基準にした力強さを全面に出したものが多かったのですが、今回はどのガンプラとも似ていない新しい体型を実現できたのではないのでしょうか。これらの事柄は、私個人としては大きな収穫でしたが、ガンプラの歴史においては、ささやかですが今後に礎となる意義を残せたのではないかと思っています

カトキハジメ
【Katoki,Hajime】
メカデザイナー・イラストレーター。'91年にOVA作品『機動戦士ガンダム0083 スターダストメモリー』で公式に参加して以来、ほとんどのガンダム作品に参加してきた。プラモデルなど関連商品のコンセプトデザインを手掛けていることでも有名。

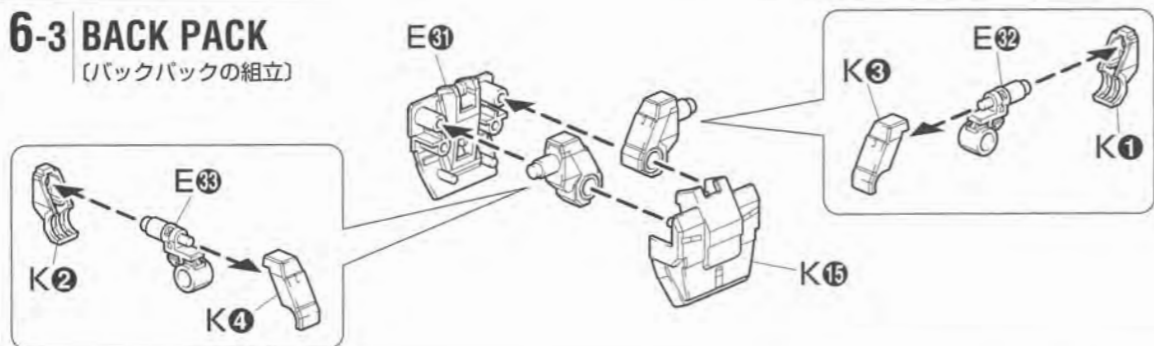
6-2 LEFT WING

[左ウイングの組立]



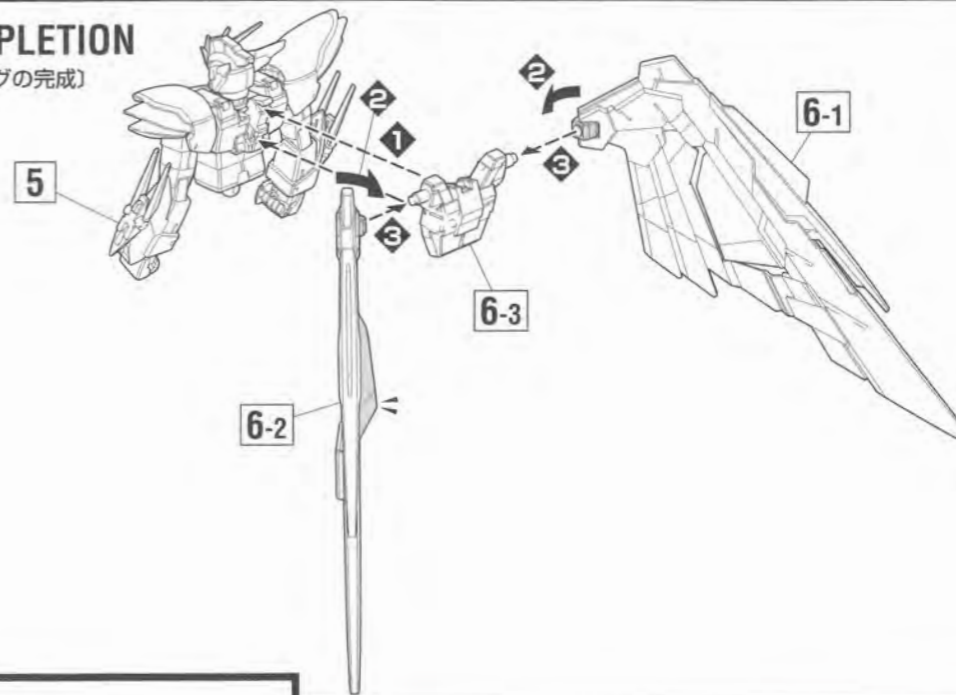
6-3 BACK PACK

[バックパックの組立]



6-4 COMPLETION

[ウイングの完成]



7 WAIST

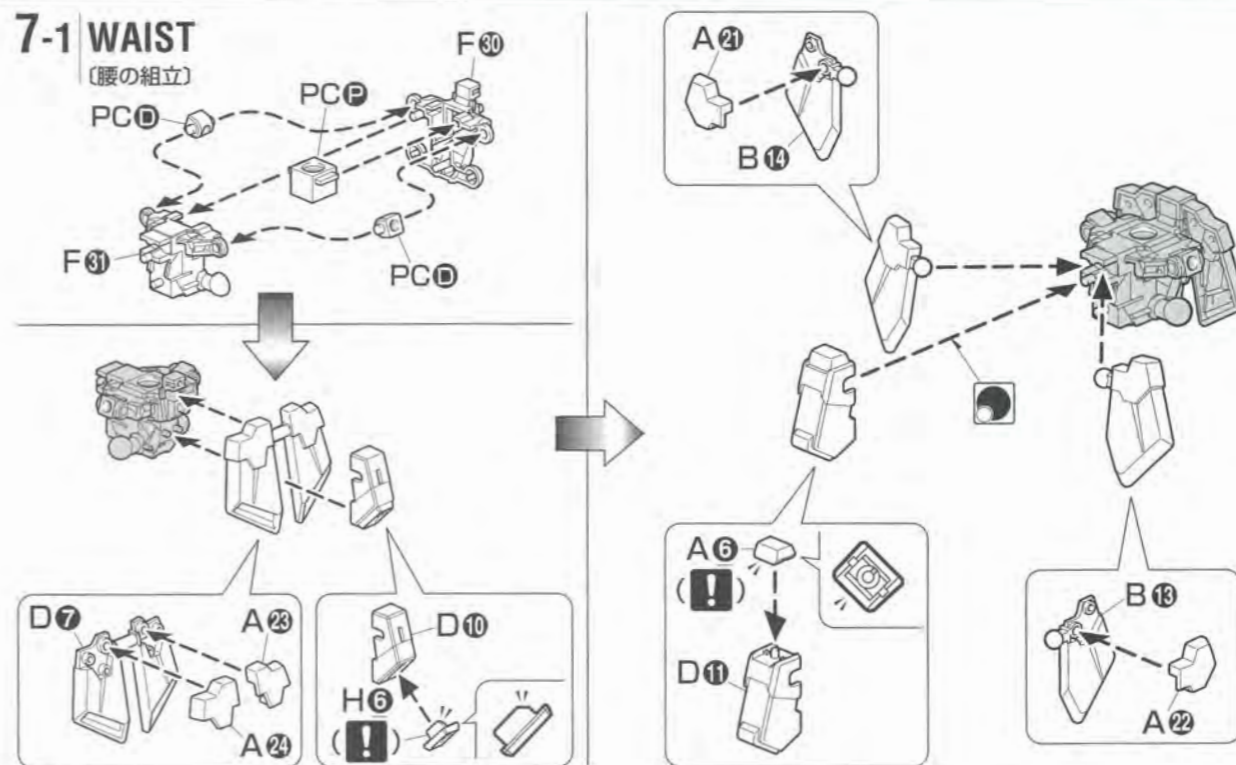


XXXG-01W WING GUNDAM (ver.ka)
Wing Gunther Models Designed and Produced by K&A

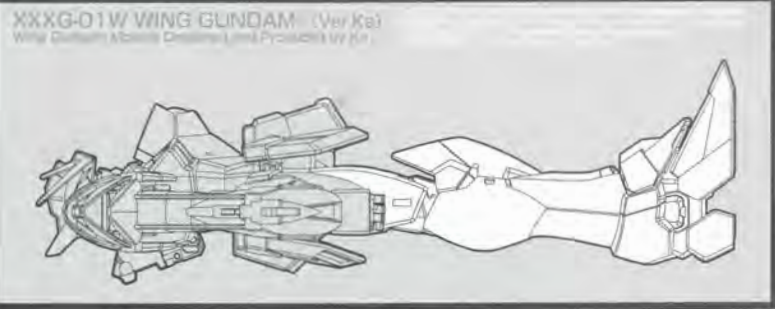
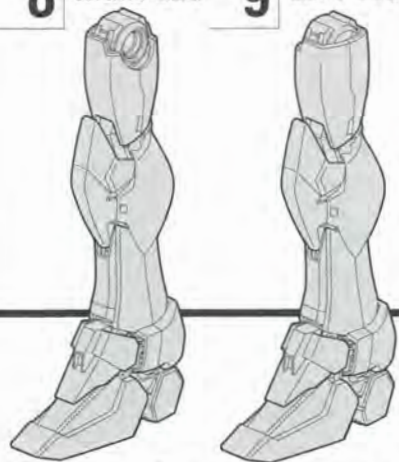


7-1 WAIST

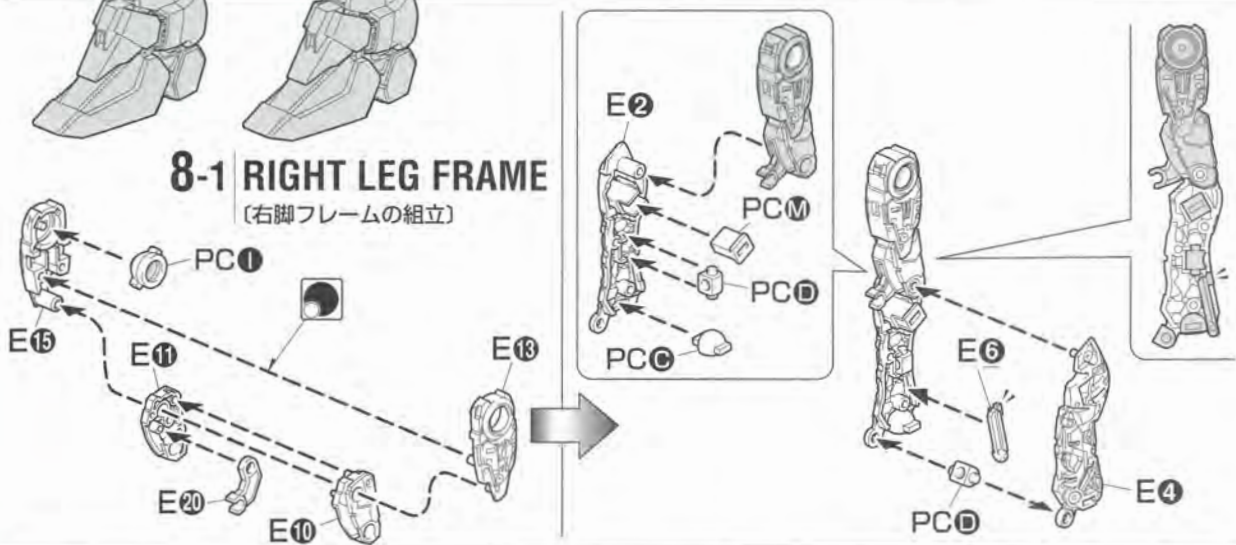
[腰の組立]



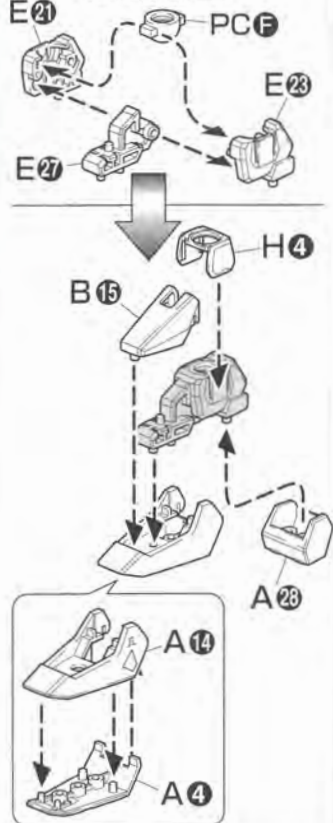
8 RIGHT LEG 9 LEFT LEG



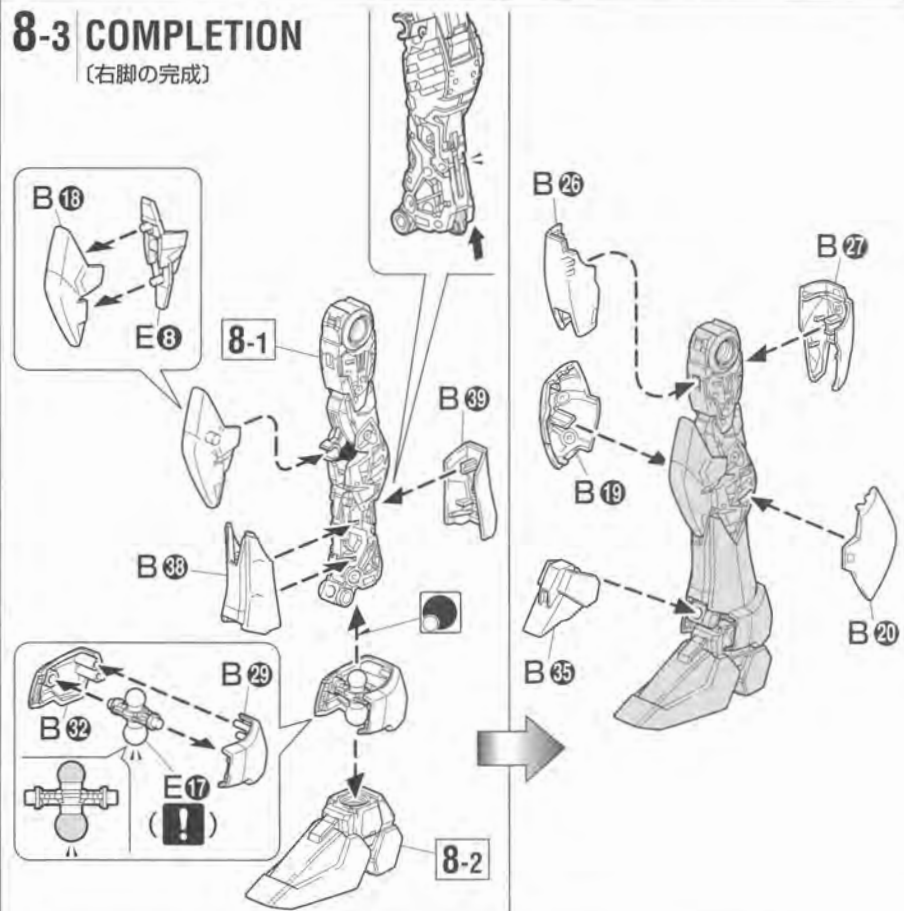
8-1 RIGHT LEG FRAME
[右脚フレームの組立]



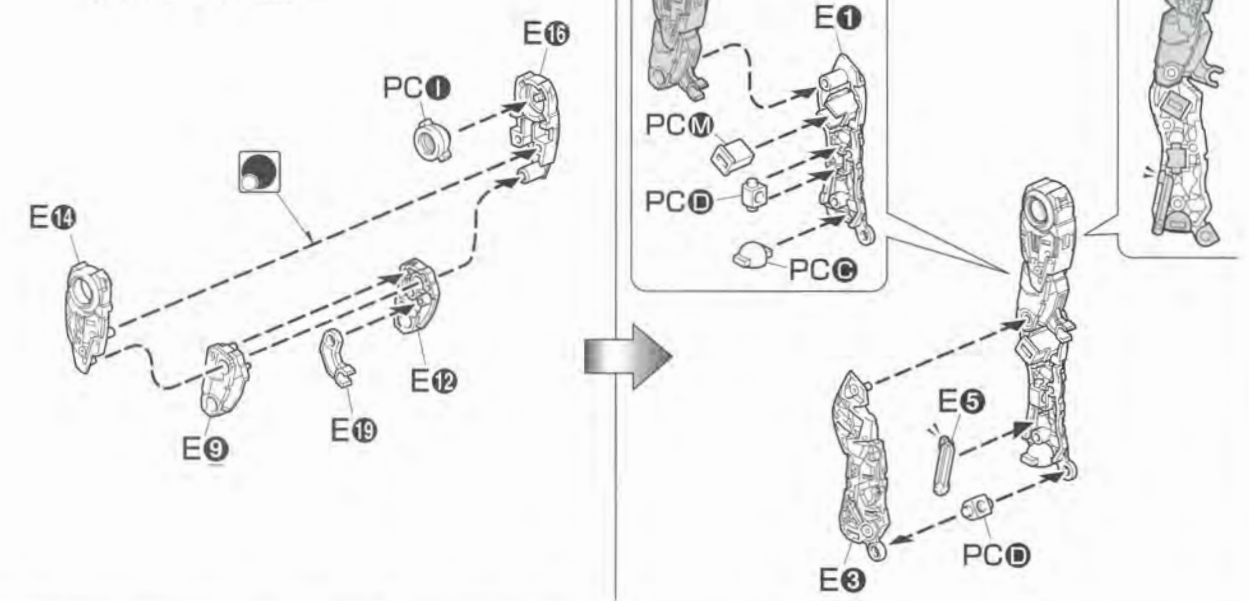
8-2 RIGHT ANKLE
[右足首の組立]



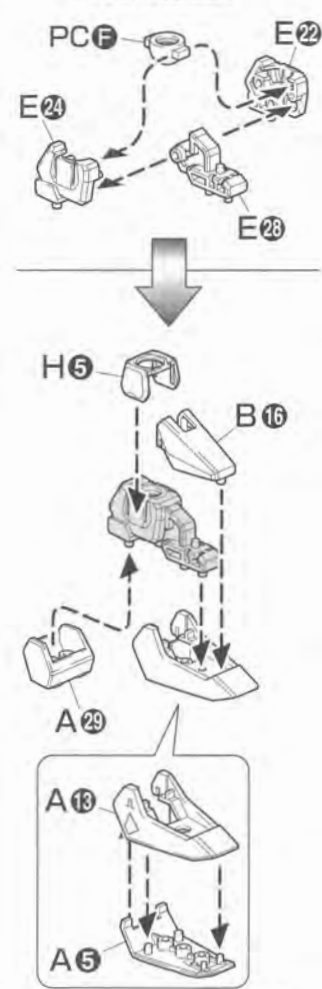
8-3 COMPLETION
[右脚の完成]



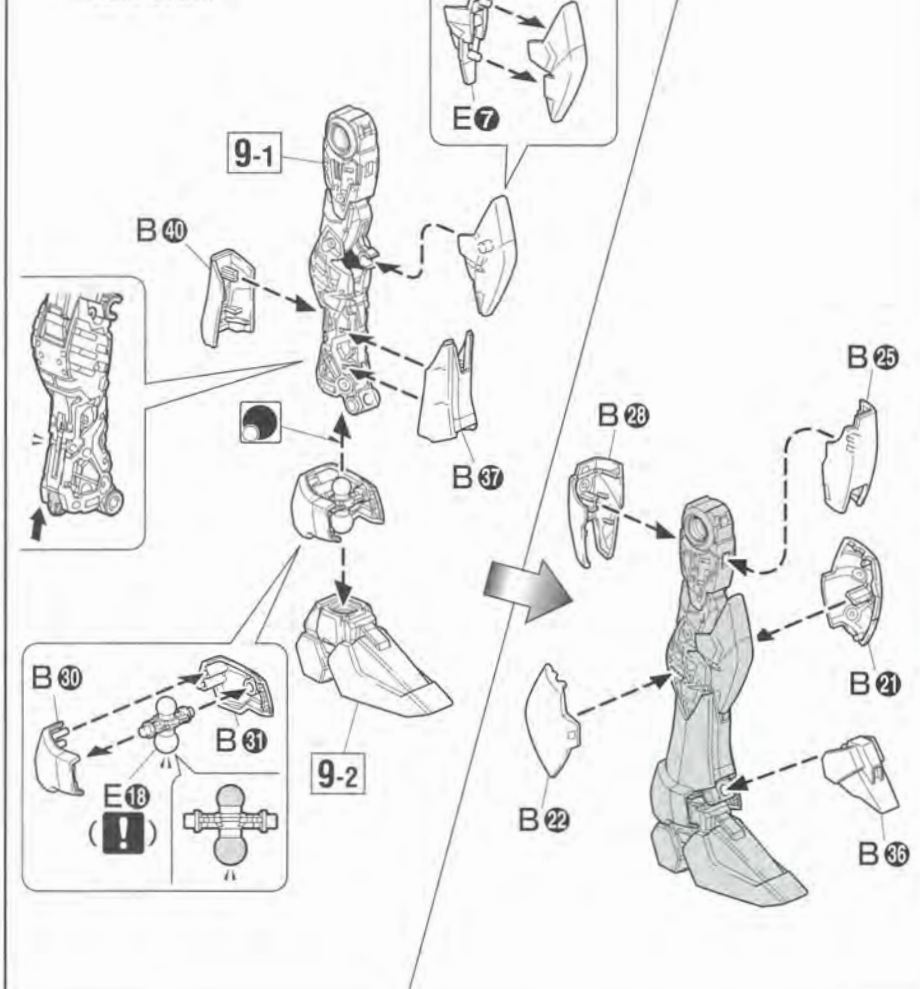
9-1 LEFT LEG FRAME
[左脚フレームの組立]



9-2 LEFT ANKLE
[左足首の組立]



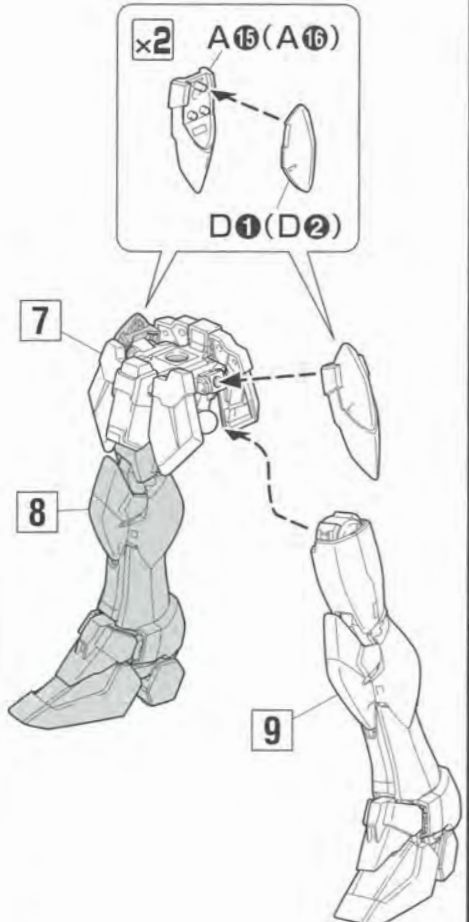
9-3 COMPLETION
[左脚の完成]



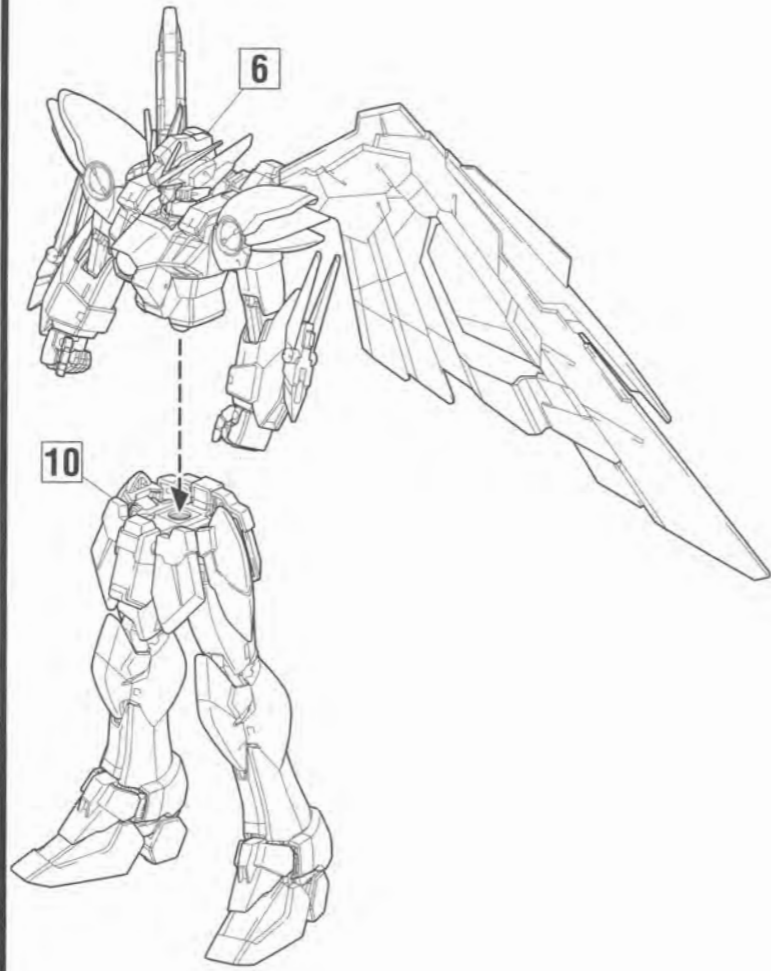
10 BOTTOM



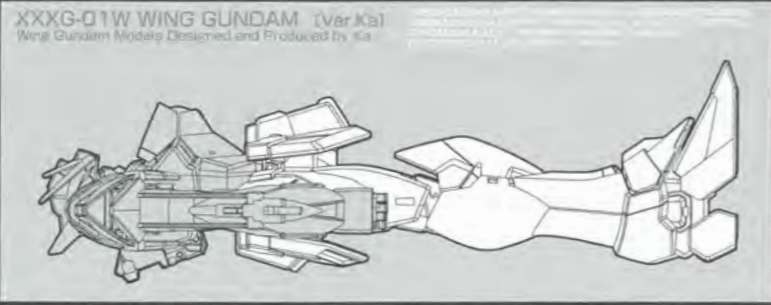
10-1 BOTTOM [下半身の組立]



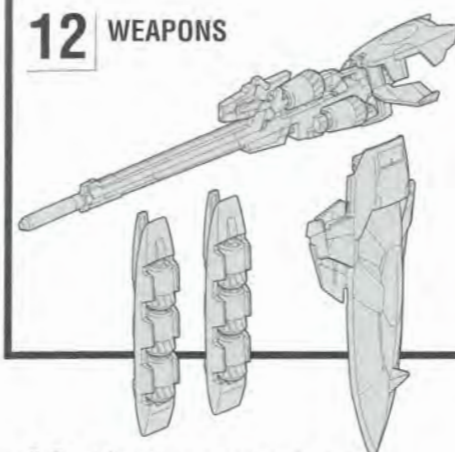
11 FINAL ASSEMBLE



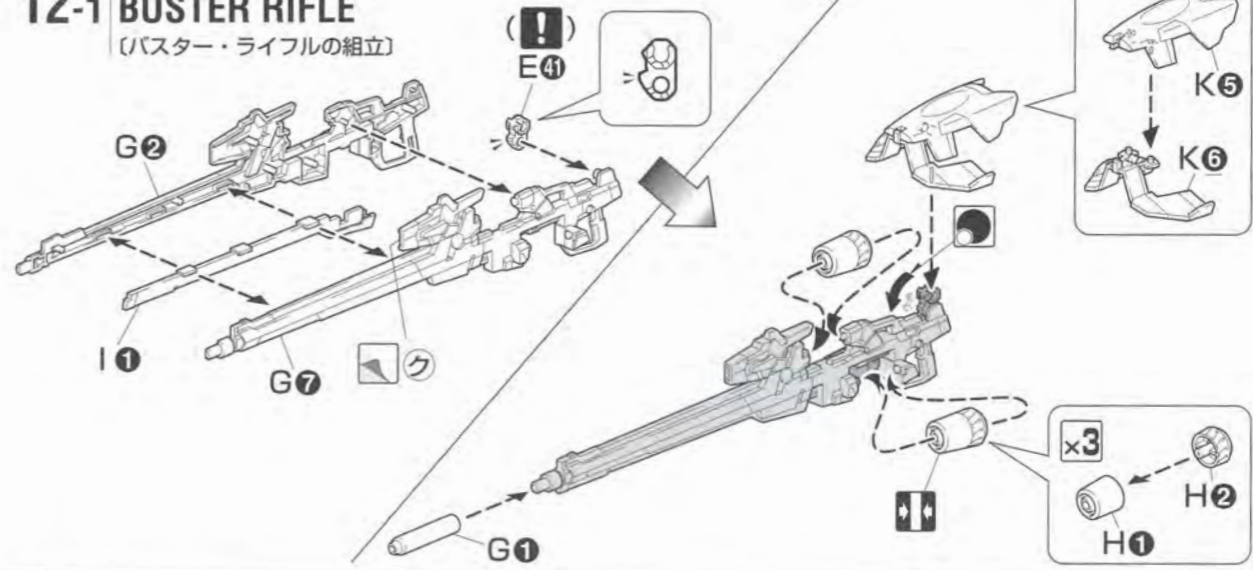
※B2は好みの場所に飾ってください。



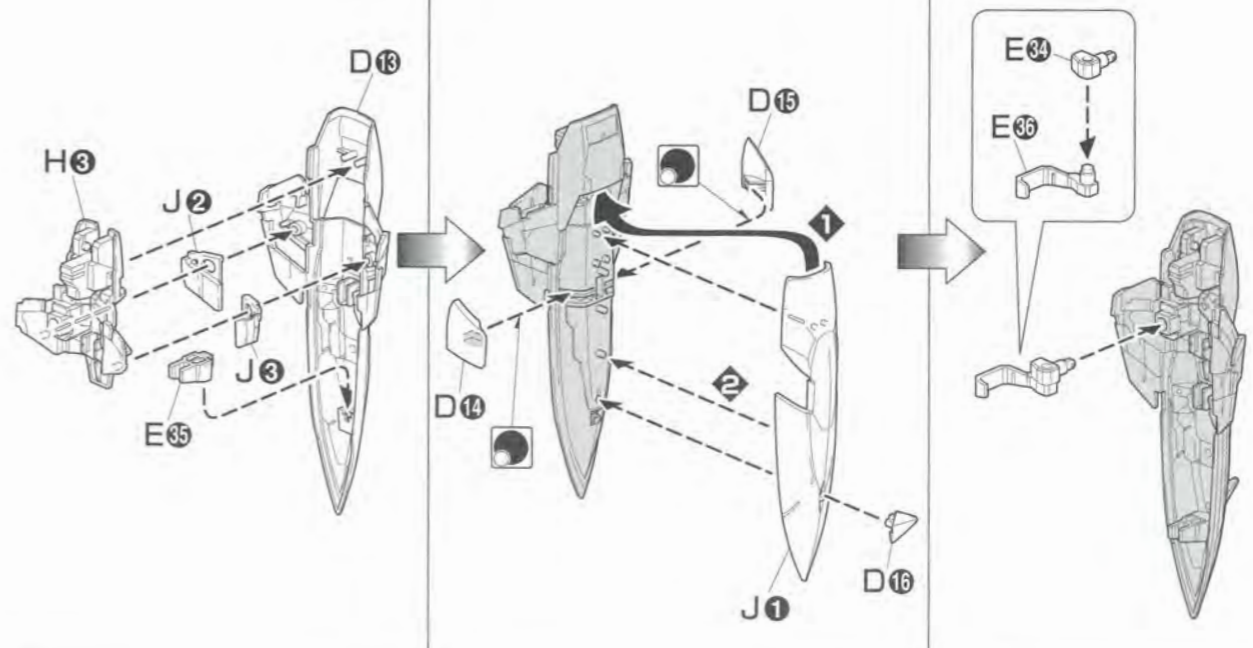
12 WEAPONS



12-1 BUSTER RIFLE [バスター・ライフルの組立]

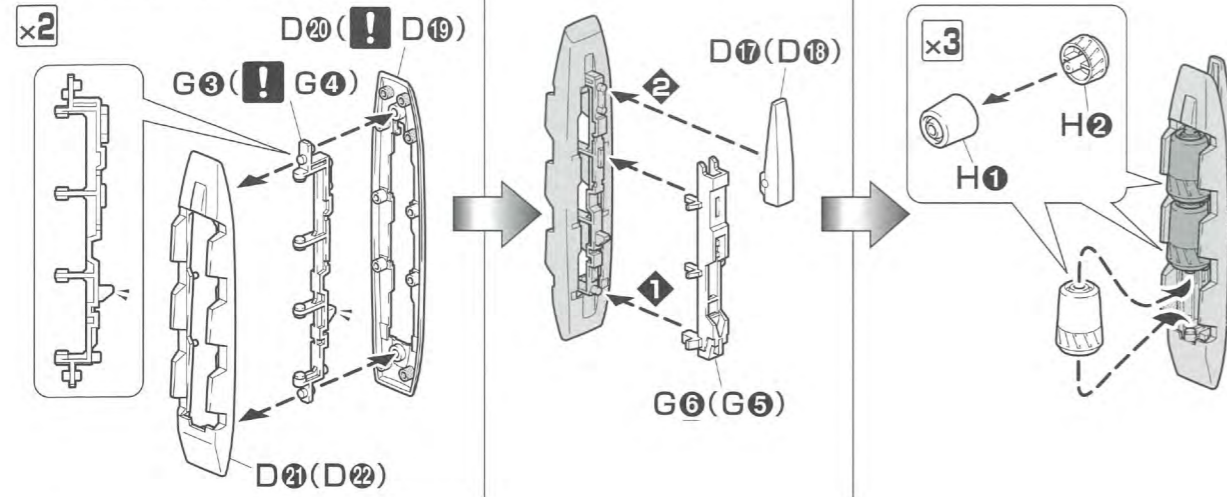


12-2 SHIELD [シールドの組立]



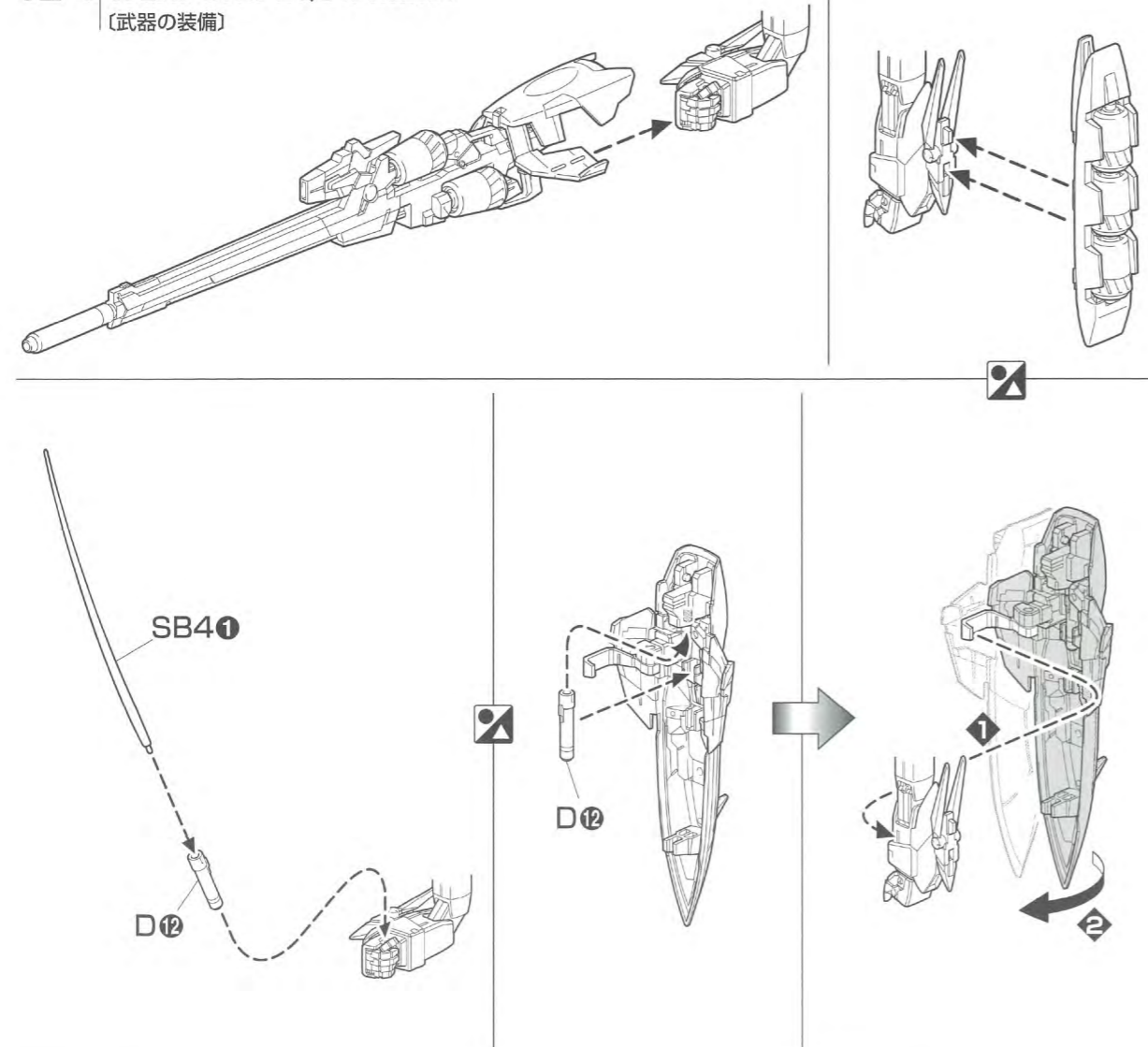
12-3 ENERGY PACK

(エネルギーパックの組立)



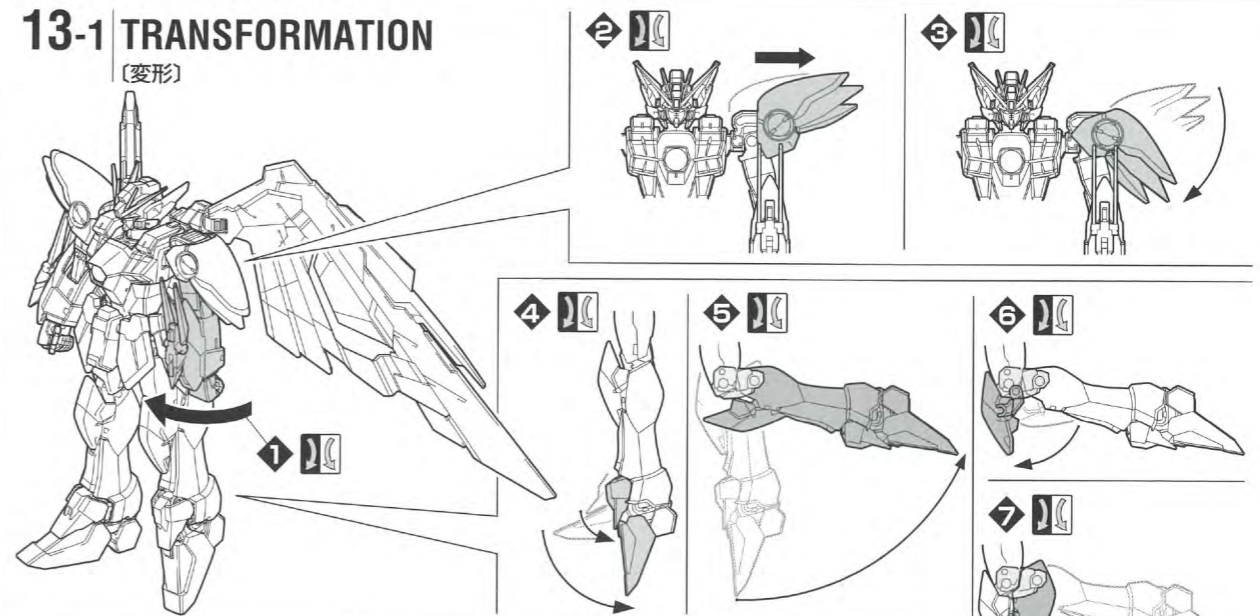
12-4 WEAPONS EQUIPMENT

(武器の装備)



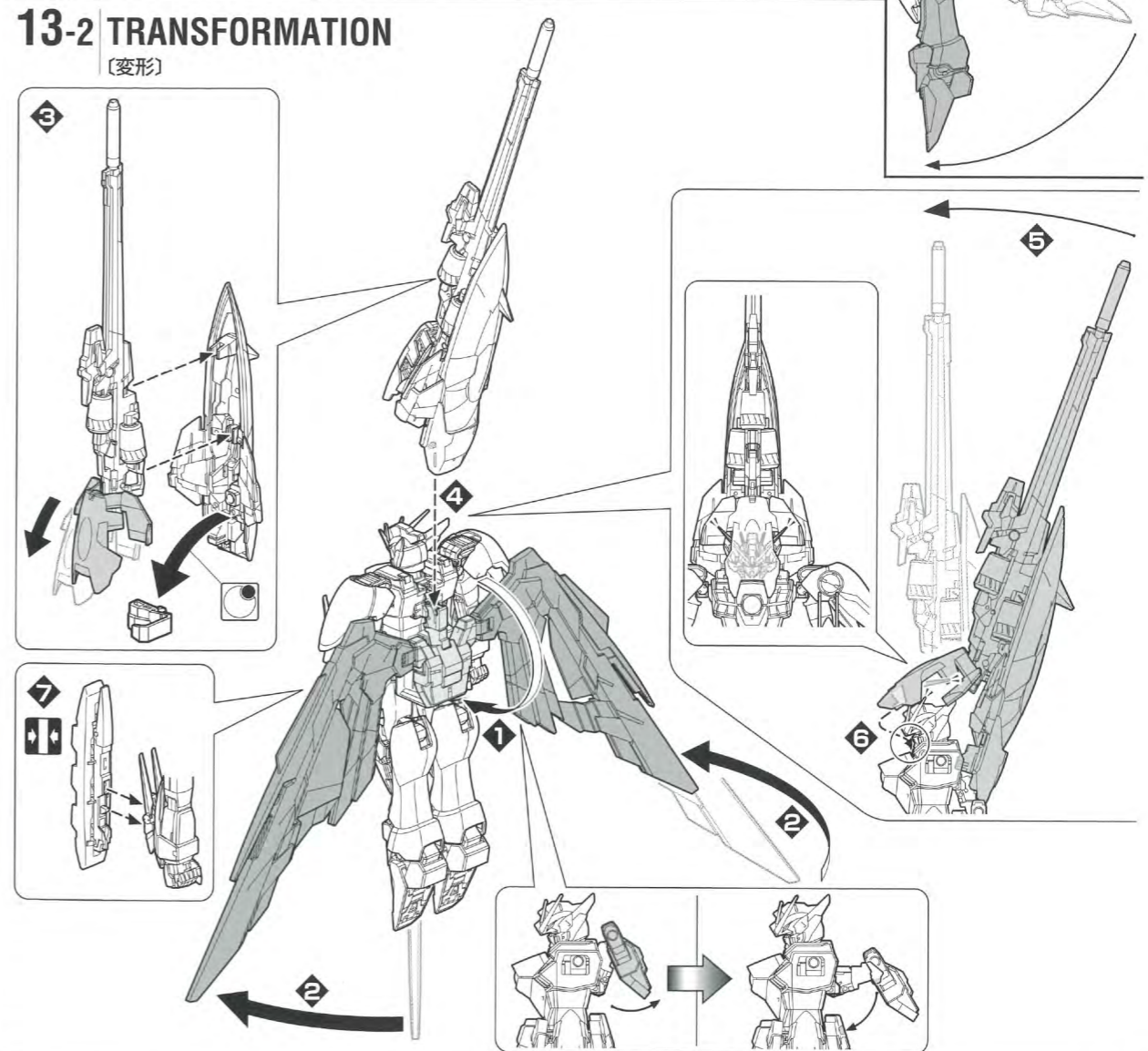
13-1 TRANSFORMATION

(変形)

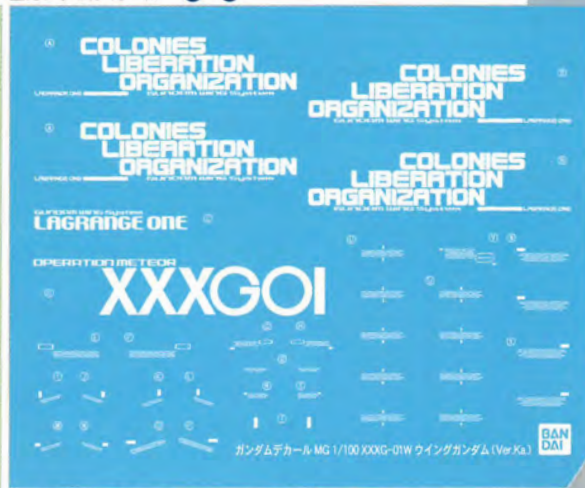
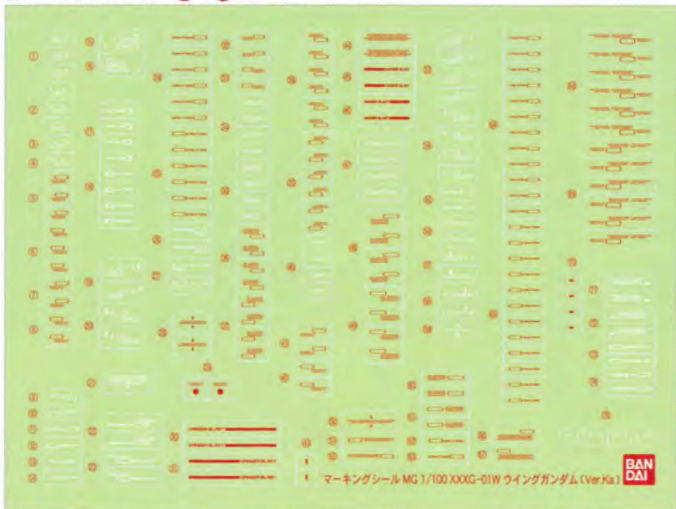


13-2 TRANSFORMATION

(変形)



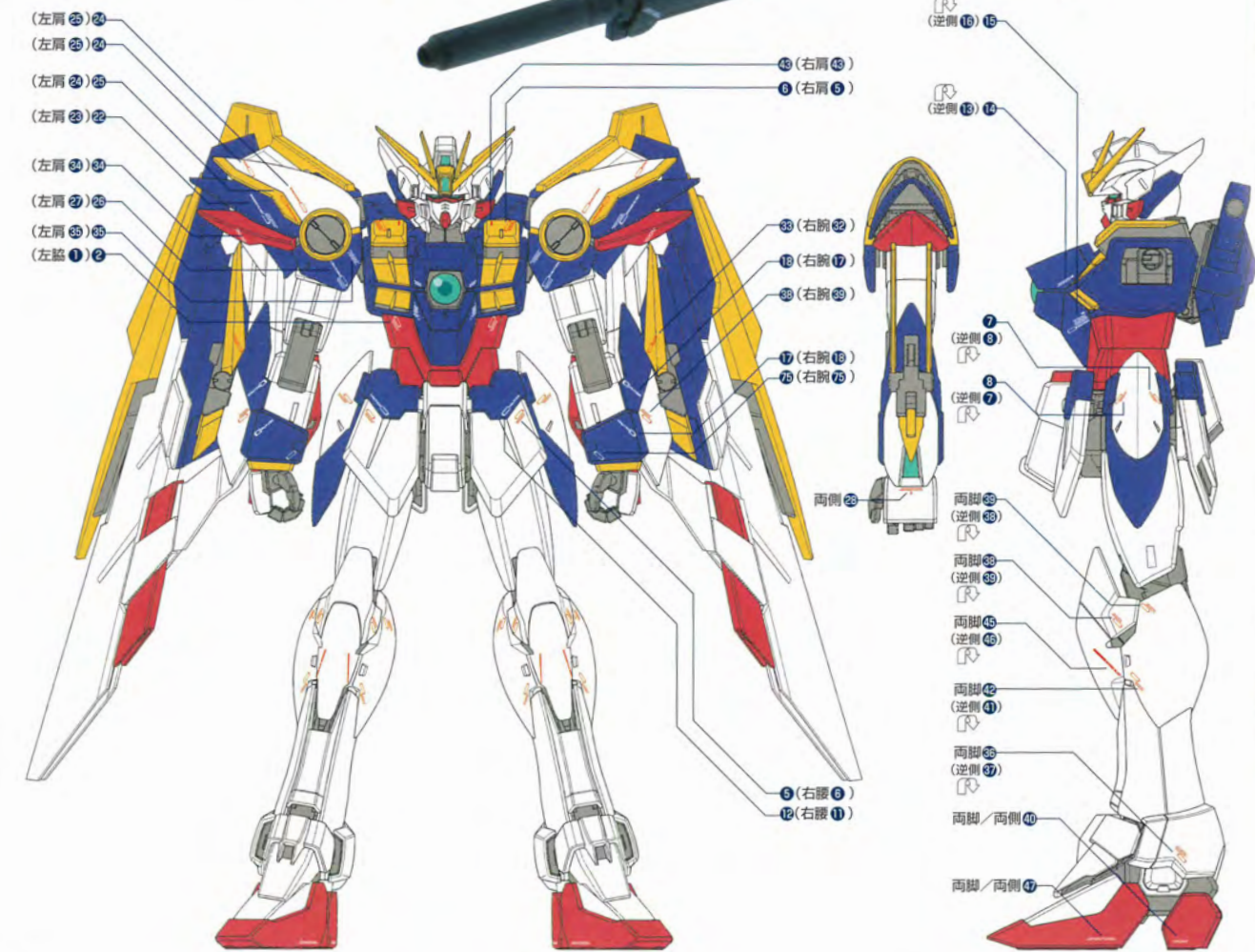
PARTS LIST	PARTS LIST
BODY	BODY
HEAD	HEAD
ARMS	ARMS
UPPER BODY/WING UNIT	WING UNIT/UPPER BODY
WAIST	WAIST
LEGS	LEGS
BOTTOM	BOTTOM
FINAL ASSEMBLY	FINAL ASSEMBLY
WEAPONS TRANSFORMATION	WEAPONS TRANSFORMATION



COLOR CHART
used paints and mixture ratio

- 白・ガンダムカラーホワイト12
ホワイト(100%)
- 青・ガンダムカラーブルー34
コバルトブルー(75%) + ホワイト
(20%) + 蛍光ピンク(5%)
- 弾倉・ニュートラルグレー(55%) + シ
ャインレッド(30%) + ブラック
(5%) + インディブルー(10%)
- 肘、膝などの露出部分
マホガニー(60%) + ニュートラルグ
レー(35%) + 濃緑色(1)(5%)
- 赤・ガンダムカラーレッド7
モンザレッド(45%) + シャインレッド
(45%) + 蛍光オレンジ(10%)
- 武器本体・ニュートラルグレー
(50%) + 白(40%) + シャインレッド
(5%) + インディブルー(5%)
- 目・イエローグリーン(30%) + ホウ
ト(70%) + クリアブルー(少々)
- 黄・ガンダムカラーイエロー2
ホワイト(50%) + オレンジイエロー
(40%) + 蛍光オレンジ(10%)
- 脚部内部フレーム・マホガニー
(50%) + ニュートラルグレー(20%) +
サンドイエロー(30%)

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。
●このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)G.S.I クロスより発売のガンダムカラー
(MG ウイングガンダム Ver.Ka)用、その他カラーセットをお使いください。
※マーキングシールをさらにきれいに貼りたい場合は、透明な余白をあらかじめ
切り取ってお貼り下さい。
※指示の無い部分貼る場合は、イラストを参考に貼り下さい。



Gundam Models
Designed and Produced
by Ka
**XXXG-01W
WING GUNDAM
"Ver.Ka"**

COMPLETE DIAGRAM
for painting and applying decals

- ガンダムデカールの貼りかた
- 転写するマークを大きめに切ります。
 - 転写する場所に軽く押さえ、先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
 - シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

